

B & G 海洋体験セミナー

きれいな海で マリンスポーツを体験

B & G財団が主催する海洋体験セミナーが、8月26日から30日まで沖縄県で行われ、関東地区と九州地区の中学生97名が参加し、マリンスポーツや野外活動を体験しました。町からは、林伸一さんと實川隼輔くんが参加しました。



左から實川くん和林くん

海洋体験セミナー に参加して

東陽小6年 林 伸一

ぼくは、今回この「B & G 海洋体験セミナー」に参加しているいろいろなことを学び、体験しました。

まず、海洋性レクリエーション体験で1番楽しかったのは、「バナナボート」です。猛スピードで海を進み、波が来るたびボートがゆれてとてもスリルがありますが、とても楽しかったのですが、水しぶきがすごい勢いで顔にかかり顔が痛くなりました。

次に、1番疲れたのが「サバニ」と呼ばれる昔沖繩の漁師が使っていた10人乗りの手こぎ舟でした。進



むのがとても大変で、風でサバニが横になりそうになった時には、てんぶくしそうでとてもびびりました。でも、下にはとつてもきれいな海が広がっていて水がすんでいるのが分かるほどでした。みんなで力を合わせてたおかげでけっこう速く進みましたが、終わったときには腕が痛くなりとても疲れました。

今回のセミナーを通じて一番心に残っているのが、沖繩の「サンゴ」についての話でした。

沖繩のサンゴは約95%がすでに死滅しているそうです。主にその原因は、海に流れ込んでしまった「赤土」、「地球温暖化」、「オニヒトデの大量発生」などで、サンゴが生きていけなくなる環境になってしまっている

そうでした。また、ゴミのポイ捨てなども原因の1つで「ゴミはゴミ箱へ」という、誰でもできること、あたりまえのことがサンゴを守っていけるということでした。

サンゴは、二酸化炭素を吸って酸素を作ってオゾン層の破壊を防ぎ地球と人間を守ってくれています。地球や人間を守ってくれているのだから、僕たち人間もサンゴを守ってあげないといけないと思います。なぜなら、生き物は助け合いだと思うからです。

一人一人が心がけ、サンゴを増やし、もつともつときれいな海になったらいいなと思いました。最後に、この体験セミナーを通してお世話になったたくさんの方々へ感謝したいと思います。

五日間のセミナー を通じて

日吉小6年 實川 隼輔

「沖繩?...行きたい!」手紙を見たとき、すぐそう思いました。沖繩行きが決まったときはとても嬉しくて、そのときから、沖繩はどんな様子かな、どんな事

をするのかなと色々思っていました。そして、8月26日、羽田空港を出発し那覇空港に着くと、まぶしい日差しとともにエメラルドグリーン

の海が目飛び込んできました。台風のことがか心配されていましたが、そんなことを思わせないような天気でした。

まずは『美ら海水族館』。世界一大きい水槽は、その名に恥じぬ大きさと、ジンベイザメも気持ちよさそうに泳いでいました。

2日目は、マリンスポーツを楽しみました。カヌーに乗ったり、サバニという漁船に乗ったり、イルカと触れ合ったり。中でも印象に残ったのはヨットとバナナボートです。ヨットは、思ったよりぐらぐら揺れて、今にも倒れそうになったりして、とても面白かったです。バナナボートは、一度乗ったことがあるけど、そのスピード感とスリルは何とも言えない楽しさでした。こんなきれいな海で、こんなに楽しいマリンスポーツができるなんて、サイコーだなと思いました。その後

も、マングローブを探検したり、沖繩の料理を作った

りして、夢のような5日間を過ごしました。

また、たくさんの方達もできました。福岡県や埼玉県、群馬県など色々な県の友達とも知り合うことができました。またあえるかどうかかわからないけど、みんなのことは一生忘れないでしょう。そして、あの沖繩の美しい海。透き通るような水と七色に輝くサンゴ礁。あんなに感動したことは初めてだと思います。これからもずっと、あの海を守っていかねばならないと思います。

今回のセミナーを通じて、マリンスポーツの楽しさ、自然や海の大切さ、たくさんの方達から学びました。僕たちは、自然と海の大切さを、次の世代に伝えていかねばなりません。それが僕たちの使命です。

